今月の主要記事

- ○保健衛生推進大会開く
- ○交通災害共済制度
- ○農地の売買、転用等について
- ○中野島保育所竣工
- ○愛の血液助けあい運動
- ○町内五地区で住宅調査

広報こしじ

第41号
新潟県三島郡
発行所　越路町役場
電話来迎寺局(代)300番
印刷所　長岡市北越印刷

43年7月の人口動態

住民基本台帳人口　（7月末日現在）

世帯数		2,959
人口		14,337人
内訳	男	6,948人
	女	7,389人

7月の住民移動状況

出生数		23人	死亡数		11人
内訳	男	7人	内訳	男	6人
	女	16人		女	5人
転入数		22人	転出数		18人
内訳	男	11人	内訳	男	7人
	女	11人		女	11人

健康で住みよい町を

保険衛生推進大会開く

去る八月九日越路町役場で開かれた「越路町保健衛生推進大会」には町婦人会員をはじめ食品取扱業者、部落防疫関係者等百二十人余りが参加し、赤痢予防の手洗い方法、ゴキブリ駆除の実技の他新発田保健所長猪股先生の農村における保健衛生の問題や公衆衛生を進めるための地区組織の役割等について有益な特別講演があった後今後一層関係諸団体が協力して健康で住みよい町を作るため公衆衛生活動を推進する旨の大会宣言を採択して大会の幕を閉じた。

大会宣言

健康の毎日を送ることは私達の最大の願いであり、日常生活の基盤でもあります。ひと度健康をそこなえば、本人の苦悩は勿論、家庭生活は根本から破壊され、個人的、社会的損失もはかり知れないものがあります。

近年公衆衛生の目ざましい進展、環境衛生の向上により明るく住みよい社会環境が着々と整備されつつありますが、依然として赤痢や日本脳炎等伝染病は多発の傾向にあり私達に恐威を与えております。

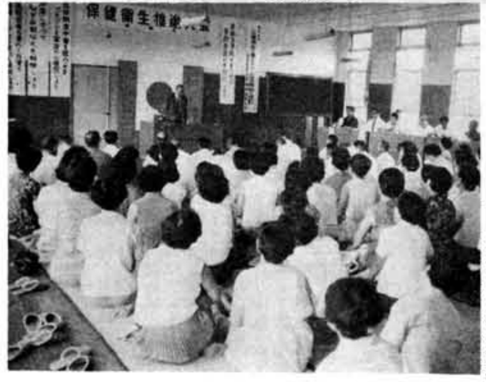
このとき私達は、

1.赤痢を予防する為に三十秒手洗運動を推し進めます。

2.部落こぞって、ゴキブリやねずみ、はえの駆除を強力に進めます。

以上のことを町及び関係諸団体と協力して実践し、健康で住みよい町を建設することを宣言いたします。

昭和四十三年八月九日
越路町保健衛生推進大会



保健衛生推進大会風景

交通災害共済制度

九月一日から実施

家族揃って加入しよう!!

交通事故によって死傷される数は激増の一途をたどっており、毎日のように、新聞等で悲惨な交通事故が報道されております。

この激増する交通事故から住民を守ろうという交通災害共済制度が、県下百五市町村の一部事務組合で発足しました。

この制度は、年額おとな三百六十円、中学生以下は三百円の会費です。

希望する町民はだれでも会員となれます。会員が不幸にして交通事故にあった場合、死亡又はケガのていどに応じて共済見舞金をうけられる制度です。

○見舞金支給の対象となる交通事故

運行中の車両等の交通事故で日本国内において発生した人身事故。

○会員に加入できる人

町に住所を有している人で年令の制限はない。

○会費

一人年額三百六十円です、中学生以下は一人年額三百円です。（本年八月中に申込まれる人は二百十円、中学生以下は百七十五円）

○共済期間

毎年四月一日から翌年三月三十一日までで、中途加入した人は会費を納入した日の翌日から共済期間が始まります。

○共済見舞金

別表

等級	傷害の程度	金額
1等級	死亡した場合	50万円
2等級	全治6ヵ月以上の傷害を受けた場合	10万円
3等級	全治3ヵ月以上の傷害を受けた場合	5万円
4等級	全治1ヵ月以上の傷害を受けた場合	2万円
5等級	全治1週間以上の傷害を受けた場合	5千円

○共済見舞金の支給

加入者、または遺族の請求によって支給しますが、災害を受けたときから、一年以内に請求しなければなりません。

○給付の制限

①加入者又は、見舞金受取人となる者の故意または重大な過失による場合

②無免許又は、飲酒運転による自損行為の場合

③天災地変に起因する場合

○申込方法

申込みは、申込書に記入のうえ、会費をそえて町内各農協、北銀来迎寺支店または役場総務課へ申込んで下さい。会費を納入した翌日から会員となります。

県民総ぐるみで
一日一円の
交通災害共済に加入しましょう
交通災害共済

交通事故発生状況

七月中における県下の交通事故発生状況は、人身事故件数九七〇件（前年同期八七八件）、死者数三一人（同三二人）、傷者数一、二七四人（同一、一一三人）で死者は三・一%と減少したが、人身事故件数一〇・五%、傷者一四・三%と増加した。

特に傷者は今まで月間最高だった昨年八月の一、一九五人を超え、一、二〇〇人台という悲しい記録となった。

これを当事者別にみた場合、普通貨物車三〇五件、二輪車二二四件、普通乗用車一五一件の順に多く、普通車と二輪車で全事故の七〇・一%を占めている。

死亡事故は二九件三一人で前年同期より一人減少した。原因別では、わきみ運転、ハンドル操作不確実、追越違反、右、左折違反の順に多く、当事者では二輪車、自転車による死亡事故が多かった。

農地の売買、転用等に

かならず許可申請を

農地の売買、転用等については、農地法による許可申請の手続きを行い、町農業委員会の審議を経て県知事の許可がなければできないことになっておりますが、最近これらの手続きをせずに事実上の農地の売買または転用をしてから許可申請をするものがありますので、これから次の諸点に充分注意して下さい。

一、農地を許可前に売買して代価の支払いまでしているケースがあるが、農地の売買については必ず地元農業委員を通して許可申請をし、知事の許可があってからまたは登記をするときに代価の支払いをすることが正しい。たまたま農地を買う資格のないものに許可前に農地を売り代価も受けとったが手続きをするときになって売買できないことがわかり困っているケースがあります。

二、知事から売買の許可があれば農業委員会から登記に必要なことがらも併せて通知いたしますので速やかに登記の手続きをされることが望ましい。

三、農地の転用についても必ず地元農業委員を通して許可申請をし許可があってから転用すること。山間部等で経済的に採算がとれないからといって許可を得ないで畑に植林をしているケースもあるようにきくが必ず許可があってから転用すること。

四、国、県、国鉄等が売買転用する場合は許可をうける必要がありませんので、農業委員会ではその内容について全く分りませんから本人が売買（転用）の明細（国・県・国鉄等から通知がある）を農業委員会に届け出て下さい。届け出がないと耕作台帳を訂正することができません。

農地は農地法によっていろいろ制約されていますから、自分の土地だからといって勝手に処分できません。農地だけは正規の手続きをし許可がないとできないことが多いので注意して下さい。なお詳しいことは近くの農業委員または農業委員会事務局におたずね下さい。

中野島保育所竣功

＝住民の努力みのる＝

通年制の保育所がほしい幼児育成の成果が期待されているという住民の希望が実って去る五月一日に開設した中野島保育所の園舎が、この度完成して、八月八日関係部落全戸で喜びの竣功式があげられた。

これで児童館を含めて町立の保育所が四カ所となり

竣功した中野島保育所

お知らせ

全国の青少年から作文・論文・標語募集

作文・論文の部

一、応募資格

◎少年の部（作文）
満一八才未満の者

◎青年の部（論文）
満一八才以上満二六才未満の者

なお少年、青年とも年令は昭和四三年八月一日現在である。

二、主題

◎少年の部（作文）
「わたくしの希望」
「わたくしの夢」

◎青年の部（論文）
「私の信条」

三、応募方法

(1)応募は一名一点に限る。

(2)作品は青、少年の部とも四〇〇字詰原稿用紙一〇枚以内とする。

(3)作品はたて書きとし、できるだけ万年筆、ペンを使用する。

(4)住所、氏名（ふりがな）性別、生年月日、職業および勤先（学生は学校名と学年）を原稿の頭初に明記する。

(5)本人の作品で未発表のものに限る。

標語の部

一、応募資格
だれでも応募できる。

二、主題
「青少年とグループ活動」

三、応募方法

(1)応募は一人何点でもできる。

(2)作品は一枚の葉書に一点ずつ書く。

(3)作品はできるだけ万年筆かペンを使用する。

(4)作品には住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、職業および勤務先（学生は学校名と学年）を明記する。

(5)本人の作品で未発表のものに限る。

共通事項

一、作品送付先
東京都渋谷区代々木山谷町三四六郵便番号一五一
社団法人
青少年育成国民会議

二、締切期日
昭和四三年一〇月三一日

三、入賞決定と発表

(1)入賞作品は審査委員会で決定します。

(2)入賞者については本人に通知するとともに、昭和四四年一月一五日に発表いたします。

四、表彰

入賞者には次の賞を贈り、昭和四四年二月ごろ、東京で表彰式を行ないます。

◎作文（少年の部）
最優秀賞、優秀、佳作

◎論文（青年の部）
最優秀賞、優秀賞、佳作

◎標語の部
最優秀賞、優秀賞、佳作

■地方産業育成資金
融資受付開始さる!!

新潟県と越路町で基金を銀行に預託して商工業の運転資金を融資いたしますので希望者は商工会に申込んで下さい。

申込期間　9月10日から20日まで
資金枠　30万円まで
資金の種類　運転資金　店舗改装資金
金利　日歩2銭2厘
期間　6カ月以内
貸付時期　10月上旬

■伐木などによる「断線事故」防止に協力を

切り倒した木が電線を切ってしまう事故……「断線事故」がひんぱんに起っております。

電線の近くにある木を切り倒すときや、枝をおろすときは、あらかじめお近くの東北電力事業所へお知らせ下さい。

東北電力（株）長岡営業所

■訂正

●八月号（第四十号）補正予算のうち総務費中で鉄道利用債越路町引受分十三億円としましたが、鉄道利用債総額十一億円の誤りです。

●八月号（第四十号）待望の街路灯完成の文中、第一年次は三十二灯を百万円で建設としましたが、三十灯を百二十万円で建設の誤りです。

9月は台風シーズン

気象情報に
じうぶん注意
しましょう。

九月十五日は敬老の日
老人を大切にしましょう

あなたの献血でひとつの生命が救われます

愛の血液助けあい運動

最近の交通事故によるケガ人の激増や医療の進歩で輸血用血液はますます不足の状態です。

人体の輸血には、どうしても人間の血液しか輸血できないのです、貴い生命を守るためにあなたの健康な血液を献血してください。

献血された人が、不幸にして輸血が必要となったときは、健康な献血の保存血液が優先的に還元されますので、献血は人を救うとともに自分も救われることになります。

献血は長岡日赤病院内の血液センターで毎週月・水・土曜日に献血を受付けるほか移動採血車（11月中旬越路町に来る）による出張採血を行なっています。

次の条件にかなう人なら誰でも献血できます。

○満16才以上65才未満の人

○体重が男45瓩、女40瓩以上の人。

○血液の比重が基準以下でない人。

献血できない人

○妊娠している人、また過去六ヶ月以内に妊娠していた人

○産後六ヶ月以内の人。

○医師が採血できないと診断した人。

献血について詳しいことは役場衛生係におたずねください。

中学生の工場参観

雇用促進協議会が実現

中学三年生に越路町内の企業を見せて将来町内企業の就職率を高めると同時に越路町産品に対する理解を深めるため町内主要企業を対象に工場参観を実施した。

越路町雇用促進協議会では塚山中学三年生百10人を7月30日に越路中学三年生2百20人を8月5日に町内の工場参観を行った。

工場を参観する中学生

尚長岡高校越路分校三年生並びに刈羽郡小国高校の三年生は9月下旬に工場参観を実施する準備を進めておる。

毎日工場の外を通っている中学生たちは何の変りもない各工場を内部から観察すると立派に近代化された流れ作業が行なわれ量産計画が進んでおり、都会の工場よりも生産性が高いことを説明されて地元産業に対する認識を深めた。

農事作業メモ

適期刈取と上手な乾燥機の使い方

7月以降の高温多照の気候は出穂期を早くさせた、また発熱日数もいくぶん短かくなるようである。

成熟期間は温度の高低により変化する。出穂の日から日平均気温の積算温度が9百～千度になると成熟し、それを過ぎると稲の茎は枯れはじめ胴割米もおきる。7月25日以前に出穂したものは30日位、8月上旬に出穂のものは35～40日位で成熟期になると見込まれている。

成熟期は一穂の籾が約80%黄色くなったころで適期より早い刈取は青米が多く刈り遅れると高温の時は胴割れがおきる、成熟期の判断は正しくおこなってほしい。

小型乾燥機は正しく使って米質の低下を防ぐとともに過乾燥米にならぬように注意する。

①乾燥速度は1時間当り1～0.8%とする。

②適正な送風空気温度は35℃以下、湿度は30%以上とする。

③生籾乾燥～含水率の高い（20%以上）生籾は、そのまま長時間放置するとムレてヤケ米となる。脱穀後なるべく早く乾燥にはいり、やむ得ないときはむしろの上にうすく（10cm下）ひろげ空気にふれるようにする。

街頭指導に

感謝と協力を

毎月十日朝夕のラッシュ時、町内四ヶ所の交通量の多い場所で黄色い帽子に黄色い上着を着た人達の街頭指導が行なわれております。これは激増する交通事故を無くしようと言う越路町交通安全協会の会員及び交通安全推進員の方々の奉仕による街頭指導です。

最近町内での交通事故が非常に増えております。運転者も歩行者も交通規則を守り、街頭指導員の指示に従って交通事故を無くしましょう。

町内五地区で住宅調査

構造や設備の状況を

最近新しい家がどんどん建てられています。また昔からのすばらしい造りの家もたくさんあります。このような住宅がどのような構造や設備をもっているか、また宅地や世帯の居住状況などを全国的な規模で調査を行なうことになりました。

この調査は住宅統計調査といい、五年毎に行なわれ抽出調査でありまして今回は五回目の調査です。

調査される世帯は全国では約四百万世帯と全世帯の七分の一に当り、越路町では約百五十世帯と二十分の一に当る世帯を調査します。

調査項目は、建物の種類、所有の関係、建築の時期、延べ面積、構造、腐朽破損の程度、宅地、世帯主の収入と仕事の状況などの調査項目です。

調査世帯は統計理論に基づく抽出によって選び出されたもので次の部落が調査されることになりました。

○調査部落

- ●釜ケ島東部一円四十九戸
- ●岩野仲島　十三戸
- ●来迎寺小学校附近一円五十二戸
- ●上岩田西部一円三十三戸
- ●塚野山五区一円三十七戸

この調査は統計をつくるためだけに行なうもので行政上の取り締まりなどに利用されることは絶対にありませんし、調査員が調べた個人的なことを他にもらすようなことは法律で固く禁じられていますから、ご心配なく調査員の活動にご協力くださるようお願いします。

桝形キャンプ場

連日ハイカーでにぎわう

昨年桝形城趾ハイキング場までの自動車道路が整備されたので、毎日ハイカーやキャンパーが登山につめかけて自動車の駐車にも困る程のにぎわいで、町としては取急ぎ第二駐車場と第三駐車場を峯づたいに飯塚寄りの山間に設置して、連日のハイカーのサービスにつとめております。

又キャンプ場の害虫駆除をするなどして環境整備につとめておるが山なすごみ処理には困りはて、ハイカーやキャンパーの自主的整備を強く望んでおります。

害虫駆除をする桝形キャンプ場

越路町体育指導委員委嘱

四月一日付で町体育指導委員九名が委嘱された。

町の体育、スポーツ活動の発展について、教育委員会職員とともに行事のときはもちろん、スポーツ教室、各種団体のレクリエーション活動に指導助言することになっておる。

今年度は、バレーボール、卓球、レクリエーション、民謡等の普及をはかるため、体育指導委員の活躍が期待されている。

指導委員の氏名は、つぎのとおり。

山崎彰三（塚野山）、若月光男（飯塚）、金安栄一（飯島）、松井幸二（朝日）、佐藤勇（浦）、佐藤豊栄（教委）、伴奨智子（来迎寺）、小林イミ（来迎寺）、桑原節子（浦）

統計でみた町のすがた

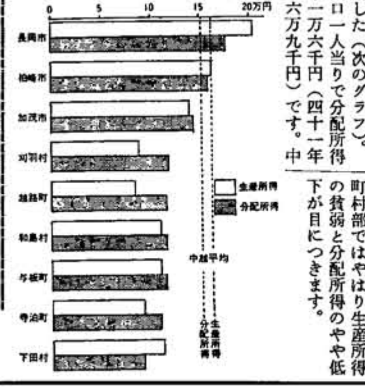
町民所得推計(6)

分配所得

分配所得は読んで字のごとく配られた所得であり、これは労働・土地・資本などの生産要素を提供することによって受け取るべき（分配された）所得です。生産所得が属地主義でとらえているのに対して、分配所得は属人主義（越路町民）でとらえるものです。

さて昭和四十一年の分配所得総額は二十四億六千万円です。生産所得が二十億円ですから、この差四億六千万円は越路町外から得た所得なわけです。これは主に長岡市（ほかに小千谷市・柏崎市など）から得た所得です。それに加えて、生産所得の二十億円の中には越路町以外の人（長岡市ほか）が得て持って出る所得も相当ありますから、差額四億六千万円よりずっと多額の所得を越路町外から得て持ち帰えっているといえましょう。この結果他市町村（特に長岡市）への依存度は相当大きいわけです。

町の分配・生産所得を中越の主な市町村と比較を試みましたが、近年の結果が発表されてないため少し古い昭和三十八年で比較してみました（次のグラフ）。総人口一人当りで分配所得は十一万六千円（四十一年は十六万九千円）です。中越の平均が十五万一千円ですから約八割に当り低くなっていますが、長岡市などの市部に大きな所得を示しているため平均が高く引っぱられているわけです。町村部ではやはり生産所得の貧弱と分配所得のやや低下が目につきます。



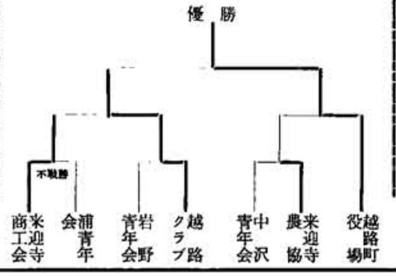
町民野球大会開会式

町民野球大会

盛大のうちにおわる!!

町教育委員会、町野球連盟の共催で第1回目の町民野球大会が8月15日 越路町中学校で行なわれた。参加7チームで炎天下にめげず優勝を競って終始真剣なプレーを展開し盛大理のうちに無事大会を終了した。

優勝　越路町役場　準優勝　越路野球クラブ



税のしおり

免税点と基礎控除額

人間の生活水準はその国、その地域に居住する住民の所得の上昇によって無限に向上して行きますが、その、より幸せな生活の享受は個人の努力だけでは到底なり得ず、国、地方（県市町村）の福祉国家、福祉地域達成のための巾広い強力な行政の推進と相俟って始めて実現して行くものであります。

しかしその行政には年々厖大な予算が必要とされ、その殆どが皆さんの税金によって賄われておるため、私達の納税義務は大変重大なことと、わきまえなければなりません。

けれどもその納税負担はとかく諸税法の賦課規定がよく知られていないことから、賦課が衡平を欠いているとして不満を訴えられることがよくありますが、その中に「免税点」と「基礎控除」の意味が分らないことに基くものが数多くありますので、今回はその二つについて説明して見ます。

免税点とは、税額計算の基礎となる評価額等が税の種類別に定められた額以下の場合は、その評価額をゼロと仮定して賦課税率を乗じても、答となる税額はゼロとすることにしていますがその一定額を指して言うものです。従って税は免税点を超える評価額等のものにだけ賦課され、その税額は免税点に関係なく評価額の全額を対象として算定します。

免税点規定を適用されている税の例としては次のようなものがあります。

◎固定資産税＝評価額が
土地　八万円
家屋　五〃
償却資産　三十〃

右のとおり各免税点までの資産を合計して四十三万円まで持っていても、固定資産税は一切賦課されません

◎料理飲食等消費税＝飲食等の料金額が
一人一回分　六百円
一品単価払い　三百円

◎自動車取得税＝売買又は売買見積り対価
一台　十万円

◎不動産取得税＝売買又は売買見積り対価
土地　五万円
家屋　十五万円

基礎控除額とは税額計算の基礎となる所得額等のうち賦課税率を乗ずる前に控除する一定額を言う。

◎所得税＝所得額が
納税者一人につき　十五万七千円

◎町県民税＝所得額が
納税者一人　十一万円

これ以下の所得者には一切税は賦課されず、これを超える額だけに賦課税率を乗じて税額を算定します。